

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活協同組合	代表者	理事長 羽賀 正人
事業所名	小規模多機能型居宅介護 プラット 高町	管理者	吉田 祐三

法人・事業所の特徴	法人は複数の診療所と介護事業を展開している医療協同生活組合で、当事業所はH19年11月に開設した小規模多機能型居宅介護である。同一の敷地内に介護付有料老人ホームやショートステイが併設されている。協力医療機関である診療所や隣接の看護師と密に連携を図って、ご利用者が安心して暮らせるようにしている。
-----------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	0人	1人	1人	0人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			○職員の大半が回答されているので良いと思う。○項目が細かくて平均的なものだが、安心して命を預けられた上で+αをして行って欲しい。○改善計画についてももう少し具体的にしても良いと思う。	・年2回のアンケートを実施して、ご利用者やご家族の意見を集約して課題を抽出する。そして、評価に繋げる。 ・改善計画を実現可能で評価しやすいように、具体的に記入する。
B. 事業所のしつらえ・環境			○ご家族のアンケートで部屋や廊下などが汚れているという意見があったようなので、掃除の部分を絞っても良いと思う。○行事などで事業所に家族が来てもらうのは難しいのでは？	・廊下等の床掃除については継続して毎日行い、居室の掃除を週1回→週2回に増やし、必要に応じて適宜掃除を行う。
C. 事業所と地域のかかわり			○ご家族のアンケートから地域の行事やイベントについて「参加していない」との結果も多かったので、グループでの広報誌だけでなく、プラットの活動について定期的に報告した方が良い	・地域の方やご家族に活動の内容を知っていただくため、広報誌を3～4回の予定で回覧板や家族宛に配布する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			○地域の方からイベントのご案内を頂き、職員も含め参加している。組合訪問で職員が会員の方の処へ伺い心配ごとなど確認している。	・今後も地域行事においては積極的に参加し、職員の顔も知ってもらえるような関わりが持てるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み			○運営推進会議での意見や要望をいただいた内容を改善しているが、委員の方に報告がないようだ。○困っている方は、現在地域包括支援センターが窓口となっているのでは？	・運営推進会議で意見や要望の結果について、次回の運営推進会議にて報告する。
F. 事業所の防災・災害対策			○防災計画をもっと知ってもらう機会を作っても良いと思う。○合同の避難訓練を行っていたが、それ以外で独自の避難訓練を行い、運営推進会議に合わせて避難訓練を実施しても良いと思う。	・運営推進会議の開催日に合わせて、避難訓練を実施し委員の方から訓練の様子からご意見やご要望を頂き、今後の改善に繋げる。